

事業所名 グループホーム シバ・ピアーズ

日付 平成 21 年 6 月 23 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 医療機関経営者
実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

居室の窓を空けると春を肌で感じる事が出来る桜の香りが漂い、温かい家庭を感じるグループホームである。ホーム立ち上げから8年以上在籍している管理者や孫の様に若い男性職員、面白い話が絶えない会話好きな職員が「人の輪」「縁」を大切にしながら、入居者と向き合っており、生活(介護)している様子がみられた。ユニットを越えて、職員同士が必ず顔を合わせる環境もあり、意思疎通も出来ている。

職員は入居者から得るものが多く、涙を誘う話(昔経験した戦争体験談等)や、昔から伝わる豆知識(おはぎとぼた餅の違い)など、入居者のこれまでの経験を真意に受け止めながら、日々の介護に活かしている。また、各仕事を担当者制にしていることで責任感が生まれ、言葉かけ一つ取っても、一つ一つ身近に感じることも目標を持って取り組んでいる。

食事後のくつろぐ時間の中で、新聞を読んだり、ぬり絵をしている入居者に対して、職員は毎月目標(訪問調査当月の目標「見つめて会話」)を決めて、会話を通じて、楽しみながら実践している。

家族と連絡を密に取っていて、来訪してくれた家族に対しては、実際の生活を見ていただき、本人の健康状態や、近況報告を納得できるように告げている。家族とともに食事や会話を楽しみ、家庭そのままの形を、限られた訪問時間を一杯費やす家族も多く、さりげなく職員は支援していた。食事においては、管理栄養士が献立作成されており、毎週金曜日は入居者のリクエストを取り入れて自由食としている。食事のときは、職員は入居者の噛む力などの摂食能力や入居者の食欲を見ながら、量の加減や好き嫌いを確認して、より各入居者に合わせた食事介助を心がけている。

ピアーズでは年間行事を計画し、入居者主演によるザ・ピアーズ劇団「忠臣蔵」を開催。ほかに節分祭りなど様々な行事を開催し、職員も入居者と一緒に楽しみながら、色々な事を催すチャレンジをしている。また、意欲向上を目的としてドッグセラピーを導入し、入居者のやる気や身体機能アップに向けた取り組みもして、職員の前向きな姿勢が伺われる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

施設敷地内に畑はありますが、入居者の身体状況や高齢ということもあり、活発に活用されていないようです。何かきっかけを作って、草木や畑の世話が出来るように環境を少しずつ整えていけば、もっと入居者の趣味が広がっていくのではないのでしょうか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>家族の方にしっかりと自宅の様なホームへ足を運んでもらえる環境のグループホームを目指しています。また、月間目標を掲げ、職員は心と心が通える介護を目指しています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員は、入居者の趣味(歌や絵等)を活かした生活をしてもらう様に、入居者が作成した塗り絵等をホールの壁に貼り、手作りの歌詞カードを作成して歌を、思いっきり歌ってもらえる環境を作成している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者と一緒に会話や手作業(生け花等)をしている時、会話や経験から入居者の過去を察し、現生活に溶け込みながら、また、職員はその方の大事にしている思い出や好きな事をずっと長く続けて行ってほしいと言う思いを抱きながら、日々介護に取り組んでいる。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>・若手の職員には経験者が付き添い、具体的な話を交えながらサービスの質や意味を伝えている。 ・入居者に些細な失敗があっても、気にならないように配慮し、またそれも、こちらの配慮ミスと感じ、職員は一つの教訓としてサービスの質を向上させるように努力している。起こったことはすべて全体での必要性として、改善に向けてカンファレンスなどで話し合っている。</p>		